

令和 5 年 第 17 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：令和 5 年 9 月 12 日（火）午後 1 時 30 分

場 所：教育委員会室

教育長	蓮沼千秋
教育長職務代理者	平井俊一
委員	天野安喜子
委員	井戸道代

事務局	教育推進課長	飯田常雄
	学務課長	大關一彦
	教育指導課長	佐藤嘉弘
	学校施設課長	八木邦夫
	教育研究所長	百々和世
	統括指導主事	千葉一知

書記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	中尾隆
	同 主査	志村一彦

蓮沼教育長	<p>開会時刻 午後１時３０分</p> <p>ただいまから、令和５年第１７回教育委員会定例会を開催いたします。 本日は５名の方から傍聴の申し出がありますが、許可してよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、傍聴人の方の入室を許可します。</p> <p>〔傍聴人入室〕</p>
教 育 長	<p>日程第１、署名委員を決定します。平井委員と天野委員にお願いします。 続いて、日程第２、議案の審議にまいります。 はじめに、陳情第１号を審議いたします。 初めて付議されるものですので、事務局より陳情文の朗読をお願いします。</p>
飯田教育推進 課 長	<p>それでは、陳情の朗読をさせていただきます。</p> <p>令和５年８月３１日、「中学校英語スピーキングテスト結果の令和６年度都立高校入試への活用中止に関する陳情」</p> <p>陳情の理由</p> <p>東京都教育委員会（以下都教委）はベネッセ・コーポレーションと協定を結び、令和４年度に全公立中学３年生を対象に中学校英語スピーキングテスト（ＥＳＡＴ－Ｊ）を実施し、その結果を令和５年度都立高校入試の合否判定に活用しました。これには多くの問題点があることが専門家、教員、保護者等から指摘されていますが、さらに今年度は入試で活用するだけでなく、新たに１・２年生でもスピーキングテストを実施しようとしています。ＥＳＡＴ－Ｊは１１月末に設定されており、期末テストや評定作業などで、中学３年生と担当教員にとって、最も気の張る時期であり、ここにＥＳＡＴ－Ｊ前後の実務が重なり、生徒と現場の教員に多大な負担がかかっている点は深刻であり、看過できません。以下、問題点、懸念を述べます。</p> <p>１．透明性・公平性・公正性・個人情報保護の観点から</p> <p>愛験生に送られたスコアレポートでは、どうしてそのような得点になったのかはわからず、正しい採点だったかの確認もできません。 不受験者には、学力検査の得点が同じ受験生のＥＳＡＴ－Ｊ結果から見込み点が与えら</p>

れましたが、その妥当性を示す統計的根拠はありません。都教委もそれを認めながら実際の合否判定への影響について一切明らかにしていません。試験当日には解答に影響する「音漏れ」があったと受験生・試験監督から多くの指摘がありました（「前半の生徒の声が後半の生徒に聞こえた」「同じ部屋の他の生徒の解答音声が聞こえた」など）。都教委は「解答に影響する事例の報告はなかった」と言い通しました。E S A T - J の出題範囲は中学校学習指導要領に基づく内容とする」としていながら、実際にはそれを逸脱する出題がありました。生徒はどこまで勉強をすれば良いのかがわからなくなっています。受験手続終了直前、8人に採点ミスのあったことが明らかになりましたが、詳しい原因と改善策が明らかにされていません。このテストでは、個人情報（顔写真含む）をベネッセのサイトに登録する必要がありました。情報漏洩の危険性、個人情報保護の不透明さが懸念されます。

2. 授業と英語教育の質の低下、教育格差拡大の懸念

入試にスピーキングテストが入ったことで、試験で点数をとることを動機づけにした学習が進むことが懸念されます。人間とのやり取りではなく機械に向かって一方的に説明する問題で、英語でのコミュニケーション力を測ることができるのか、向上させることができるのかは疑問です。新学習指導要領によって英語教科書がさらに難しくなる中、塾に通える子とそうでない子の間で格差が広がる可能性があります。公教育は、すべての生徒の英語の力を伸ばすために行われるべきです。話す力も含めた英語の力を伸ばすのなら、すべての小中学校の学級人数を少なくするのが最も効果的です。

令和6年1月～3月実施予定の中1、中2向けのP r e E S A T - J から、次期事業者であるブリティッシュカウンシルが事業を引き継ぐこととなりますが、「不受験者への仮の得点の付与」「授業への影響」はじめ、多くの問題点は解消されません。そして、改善策が示されないまま、今年の11月26日のE S A T - J は撤退が決まったベネッセにより運営されることになっています。このままでは、公平、公正で透明性のある入試にはなりえません。

以上の理由により、E S A T - J 結果の入試活用の中止を求めます。

陳情項目

1. 貴教育委員会において、東京都教育委員会に中学校英語スピーキングテスト（E S A T - J ）結果の令和6年度都立高校入試への活用を中止するよう意見書を提出してください。

本文の朗読は以上でございます。

以下、参考資料でございます。

教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>本陳情に関する資料要求等ありましたら、お願いいたします。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
平 井 委 員	<p>スピーキングテストは、申込みが7月6日から9月22日までということで始まっており、11月26日が試験当日ということになっておりますので、ネットでも拾ってくることはできると思いますが、東京都教育委員会の中学校でのスピーキングテスト実施要項を資料としてお願いします。</p>
教 育 長	<p>そのほかはいかがでしょうか。</p> <p>事務局は次回までに資料の準備をお願いします。</p> <p>それでは、本陳情の審議は次回継続ということによろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、陳情第1号は継続といたします。</p> <p>次に、第36号議案、教育に関する事務の議案についての区長からの意見聴取についてですが、議会に上程される前の予算・条例案に関することであり、政策形成過程にある案件であることから、江戸川区教育委員会会議規則第13条に定める秘密会議として審議したいと思います。この発議に賛成の方は挙手を願います。</p> <p>〔賛成者挙手〕</p>
教 育 長	<p>賛成多数と認めます。</p> <p>これより会議は秘密会となります。</p> <p>なお、第36号議案については、議案が議会に上程された後に、議事録の公開を可能とします。</p> <p>傍聴人の方は退出願います。なお、秘密会終了後の再入室は可能です。</p> <p>〔傍聴人退室〕</p> <p>〔秘密会〕</p> <p>〔政策形成過程期間が終了したため秘密会部分を公開〕</p>

教 育 長	<p>それでは、第 3 6 号議案を審議いたします。内容について事務局から説明をお願いします。</p>
教育推進課長	<p>それでは、ご説明をいたします。最初の資料をご覧ください。教育に関する事務の議案についてということで、公印のついた資料を添付させていただきました。</p> <p>令和 5 年第 3 回江戸川区議会定例会に下記の議案を提出するにあたりまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 9 条の規定により、教育委員会に意見聴取が行われたものでございます。内容は記書きの 2 点です。</p> <p>1 点目は、令和 5 年度江戸川区一般会計補正予算中教育の事務に関する部分。</p> <p>2 点目は、江戸川区附属機関の設置に関する条例中教育の事務に関する部分でございます。</p> <p>次のページをご覧ください。</p> <p>令和 5 年度第 6 号補正予算概要（教育費）案でございます。</p> <p>今回の補正予算につきましては、歳出の部をご覧くださいますと、学校施設費に関しまして 8 億 3 , 1 7 0 万円の補正でございます。項目は三つに分かれてございます。学校施設整備費（小学校）、一之江小学校施設改築費、葛西第二中学校施設改築費でございますが、右側の内容をご覧くださいますと、いずれも旧第二松江小学校並びに一之江小学校、葛西第二中学校の解体工事の概算額が算出されたことにより、工事請負額の増が見込まれたことから補正予算を計上するものでございます。旧第二松江小学校が 1 億 7 , 8 0 0 万円、一之江小学校 3 億 6 , 6 0 0 万円、第二葛西中学校が 2 億 8 , 7 7 0 万円でございます。その下に繰越明許費というところがございますが、3 校ともいずれも完了が令和 6 年度を見込まれてございますので、令和 5 年度から 6 年度にかけての繰越明許ということで計上させていただいてございます。</p> <p>続いて、次のページをご覧ください。</p> <p>江戸川区附属機関の設置に関する条例は新規条例でございますので、全文の案をお示しさせていただきました。資料の説明に入る前に口頭で補足させていただきますが、区長や教育委員会などの附属機関につきましては、何々審議会、何々調査会というような形で外部に調査や諮問を行うための附属機関と呼ばれる機関を設置することがございます。例えば、教育委員会で申し上げますと、文化財保護審議会、こちらが附属機関にあたる機関になります。他の自治体で附属機関を設置する場合には、地方自治法の定めに基づきまして、法律や条例で根拠となるものを定めた上で、附属機関を設置することになってございますが、他の自治体で、そういった根拠法令がないまま附属機</p>

関を設置している実例が見受けられたということがございました。そこで調査したところ、江戸川区には現在３７の附属機関があるのですが、その他にも実質的に附属機関と同じような役割を果たしておりまして、ただ、条例による根拠付けがなされていない、そういった恐れのあるものが見つかったところでございます。今回、そういった会議体の精査を行いまして、附属機関の設置根拠となる条例をまとめてつくりましたのが、今回のこの条例案でございます。

それでは、条例案の全文をご覧ください。この条例につきましては、第一条で趣旨、こちらは地方自治法の規定に基づき、附属機関の設置、所掌する事務、組織その他の内容について定めるものでございます。第二条が所掌事務、第三条が組織、これは定数等でございます。第四条は委員の任期でございますが、第二条、第三条、第四条については別表に定めるということになってございますので、後ほど別表で詳しく説明をいたします。第五条が専門委員ということで、必要がある場合には附属機関に専門委員を置くことができる。第六条が委任ということで、この条例に定めるもののほかは当該附属機関の属する執行機関が別に定めるという内容を規定してございます。

次のページをご覧くださいまして、附属機関ということで全部で１５個の附属機関が列記されてございます。江戸川区新庁舎建設アドバイザー会議に始まり、最後が江戸川区就学支援委員会でございますが、教育委員会が所管するものとしましては、下の二つでございます。江戸川区学校保健委員会及び江戸川区就学支援委員会の二つの機関になります。その下から別表でございますが、区長の附属機関がまず続いてございまして、一番下に、江戸川区教育委員会の附属機関というタイトルがございまして、内容については最後のページに記載がございまして、江戸川区学校保健委員会につきましては、所掌事務は、学校保健衛生に係る事項を調査及び審議すること。定数は２４名以内。任期は１年でございます。もう一つの学校就学支援委員会につきましては、特別に支援を要する児童または生徒の就学相談等並びに適切な教育の場の判定及び助言に関することを所掌事務とし、定数は１２０名以内、任期は１年となっているものでございます。

最初のページにお戻りいただきまして、第六条の下に付則というのがございますので、そちらをご覧ください。付則でございますが、この条例は公布の日から施行する。ただし、付則の２項にございますように経過措置ということで、既に設置されている附属機関につきましてはこの条例が成立した後、改めて委員を選任するということではなく、既に選ばれてる方を、この条例による委員とみなすというような規定がございまして、こういった形で進めさ

	せていただければというものでございます。
教 育 長	ただいまの件に関しまして、質問、ご意見等あればお願いします。
天 野 委 員	予算のほうで、特にこの数字ということではないんですけれども、補正予算の工事請負費の増の理由について、もう少し具体的にこれだけ費用が上がってきているというところをお話いただけますか。
八木学校施設 課 長	金額に差があるのが一番上の第二松江小学校のものです。もう閉校しています。ただ、体育館だけ残して、あとは壊すということなので、その分、費用が少なくなっています。一之江小学校と葛西第二中学校につきましては、全面改築になりますので、全体を解体するということで、金額については、昨今、労務単価や工事費の増などがありますので、比較的多めになっていますけれども、これが妥当な数字ということでございます。
天 野 委 員	何%ぐらい上がったのですか。
学校施設課長	去年は工事費で6.6%ぐらい上げました。
教 育 長	ほかいかがでしょうか。
天 野 委 員	施行期日のところですが、この条例は公布の日から施行することですが、概ねどのあたりになるのでしょうか。
教育推進課長	この条例案につきましては、9月20日からの第3回江戸川区議会定例会に提出されますが、10月26日が議会の最終日になりますので、その日に議決をされます。議決が終わりましたら、準備ができ次第、公布をするという形になります。
教 育 長	よろしいでしょうか。
平 井 委 員	附属機関の設置に関する条例についてですが、こちら、予算についての規定とか必要はないのでしょうか。
教育推進課長	予算につきましては、条例ではなく、それぞれ毎年の予算書の中に含まれ

教 育 長	<p>てございます。</p> <p>ほかになれば、第 3 6 号議案の意見聴取に対しては異議なしと決定してよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、異議なしと決定し、区長にその旨回答いたします。</p> <p>秘密会はここまでとします。傍聴人の入室を認めます。</p> <p>〔秘密会終了〕</p>
教 育 長	<p>続いて、日程第 3、教育関係事務報告にまいります。</p> <p>教育委員会後援名義の使用承認について、事務局から説明をお願いします。</p>
教育推進課長	<p>それでは、ご報告いたします。教育委員会後援名義等使用申請一覧をご覧ください。今回 2 件の後援名義のご報告をいたします。</p> <p>1 件目の事業でございますが、今回 3 回目の後援名義の申請でございます。行事名は、夢と魔法の江戸川区公演 3 X ' m a s スペシャルウィズイリュージョンエンターテインメントでございます。申請書は、一般社団法人ジャパンイリュージョンエンターテインメント協会、代表理事であります。事業目的は、イリュージョンやマジックを中心に、ミュージカルや芝居の要素を巧みに取り入れた総合的な舞台芸術として構成し、来場した親子に未体験の感動体験を提供する。子どもたちの自立心や関心の芽生えにつなげることも目的とするというものでございます。</p> <p>実施日時は、令和 5 年 1 2 月 9 日（土）から 1 0 日（日）。会場は、江戸川区総合文化センターの大ホールでございます。事業の対象は一般区民です。経費の徴収といたしましては、入場料が 1 人当たり 2 , 0 0 0 円から 3 , 0 0 0 円。その他、バックステージツアーということで 2 , 0 0 0 円でございます。賞状・副賞等はございません。添付資料は、企画書、予算書、チラシ等がございます。後ほど、ご説明いたします。</p> <p>もう 1 件は 6 5 回目の後援名義申請です。行事名、第 6 6 回小岩書道連盟主催書初展。申請者は、小岩書道連盟の理事長でございます。事業目的は、書道の振興を図り、以って情操と文化の向上・発展に資するというものであります。参考でございますが、前回実施をされました令和 2 年度につきまし</p>

ては、高校生以上の一般のグループで106名、中学生以下の教育部で496名の参加がありました。

実施日時は、令和6年2月24日(土)から25日(日)。会場は、小岩アーバンプラザ。事業の対象と範囲は、幼児・児童・生徒ほか一般区民でございます。出展料、出品料といたしましては、一般部が3,500円、教育部が800円でございます。入場は無料です。こちらは教育委員会賞の賞状を授与する予定でございます。

参考の資料をご覧ください。一つ目が、イリュージョンエンターテインメントの企画書でございます。本事業につきましては、子どもたちに夢を届ける、ワクワク、ドキドキ、感動の70分と書いてある部分でございますが、本事業につきましては、そのほかに、小学校へのマジック教室やプロモーション活動などが含まれているというふうに記載がございます。この小学校のマジック教室がこちらの企画書には具体的に書いてないんですけども、口頭で申し上げますと、本公演が12月なんですけど、9月から11月にかけて、既に決定している小学校で20校、交渉中のところもう少しあるそうなんですけれども、20校の小学校にボランティアで訪問をして、1時間の授業の中でマジックに対する講話と25分程度のショーをする、そういったことをこの12月の講演に先立って行っているものでございます。このボランティアでのマジック教室につきましては、目的としては、一つは本公演に足を運べない子どもたちにも本物の感動を体験してもらいたいということ、もう一つは、実際に本公演で子どもたちが出演できるシーンがありますので、その希望者を募るということの意味合いで20校の小学校にボランティアで回っているというところでございます。

そういったところも含めての企画でございます。チラシの一番下のほうに12月9日、10日と書いてあって、座席の金額があるその下でございますが、子ども出演体験コースということで、当日体験マジック体験クラスで参加した子どもの希望者がステージに上がって参加できるということと、その右側にBSと書いてありますが、バックステージツアーでございます。公演が終わった後に舞台裏を見る、そういった企画も併せて実施をするというふうにお伺いしているところであります。

続いて、もう一つの企画書、次のページになりますが、書初展のほうでございますが、内容につきましては、いわゆる展覧会になりますけれども、事業内容・計画の3行目のちょっと後半部分でございますが、前回の令和2年度の書初展につきましては、コロナの関係で通常であれば、展示と表彰式を実施するところを展示のみになったというふうに記載がございます。今現在

	<p>確認している限りでは、次回についても表彰式は今のところ行わない方向で検討しているというふうにお伺いしているところでございます。</p> <p>雑駁ではございますが、2件の後援名義につきまして、ご報告は以上です。</p>
教 育 長	<p>ただいま2件の報告がございました。質問等あれば、お願いします。</p>
平 井 委 員	<p>まず、イリュージョンの江戸川公演ということですがけれども、これ読んでいただけで確かにワクワクしてくると思います。少しお聞きしたいんですけども、バックステージツアーの後に、ショーの種明かしみたいな、そんな感覚でよろしかったでしょうか。</p>
教育推進課長	<p>予定としましては、公演が終わった直後にバックステージ見学ツアーを行うというところまでは記載がございましたが、中身は当日のお楽しみということで、すみません、お伺いしてございません。</p>
平 井 委 員	<p>ありがとうございます。あと、書道連盟の書初展のほうですがけれども、我々もなかなか毛筆、書道というのはなかなか普段ふれる機会が少ないですが、大切な文化ですので、後押ししていきたいなと思います。</p>
天 野 委 員	<p>イリュージョンのほうで教えていただきたいことがあるのですが、ぱっと見た目、興行のような気がしていて、興行のところに教育委員会が後援に入るといのはいかなものかなと思ってしまったところがあります。ただ、小学校とかをボランティアで回っていらっしゃるという話をお伺いして、なるほどと思うものの、この予算の中で一般社団法人が多くの助成、費用が200万程度でしたっけ。最初の部分、JIEA協賛金というところなんですけれども、ここはどういった協会なんでしょうか。これだけの協賛金を得て、チケット売上げが900万円と出ているものですから、興行に入ってくるのかななんて思ったりもするんですけども。</p>
教育推進課長	<p>この公演の実施主体でございますが、ジャパンイリュージョンエンターテインメント協会、JIEA、要は、自分たちの持ち出しということでございます。その他の助成金については、こちらは地域芸術文化活動応援助成ということを申請されるということであります。</p>
天 野 委 員	<p>学校を訪問する活動に対して教育委員会が後援をしてということは、なる</p>

	<p>ほどと思いますし、やっていただけるとお話のように舞台に行けない方、子どもたちが楽しめる、このことは大いに賛成ですが、興行と分けたほうが良いような気がします。そうしないと、こういったところで事業する皆さんを教育委員会が応援しなければいけないということに繋がっていくのではないかと気になりました。3回目ということで、すでに2回後援しているということですが、これまで江戸川区の子どもたちにとって、やっぱりよかったねというような、そんなお話を聞かせていただければありがたいと思います。</p>
教育推進課長	<p>個別の声は聞いていないのですが、令和4年7月に実施した部分につきましては、2公演で2,678名ということで、1回当たり1,300名でありますので、超満員とはいかなくとも相当程度入った形になっているというふうに考えてございます。前回につきましても、小学校19校で38回、幼稚園8園で、それぞれのマジック教室を事前に実施した上で当日を迎えたということで、学校側からも当日そこには来られなかった子も含めて、多くの子どもがマジックを体験できたということで好評はいただいているところでございます。</p>
天 野 委 員	<p>私も言い過ぎかもしれないんですけども、企業としてやっぱり一つは戦略になってくるでしょうから、そういったところ、もうちょっと強く後援する理由があるといいなと感じます。もう一つの書道のほうは明らかに連盟として江戸川区に元々貢献してくださっている方、元々教育に関してとか、子どもたちの指導にあたられている方がいうところも垣間見られるものですから、そういった形の事業に関しては後援でいいのかなと思うんですけども、私だけかもしれませんけれども、興行に対する後援というのは、うまく表現できませんけれども。</p>
教 育 長	<p>教育になじまないところがあると。</p>
天 野 委 員	<p>ちょっとってしまった次第です。</p>
教 育 長	<p>実は、私これに去年参加させていただきました。確かに私から見たら盛況で満員に近い形でした。子どもたちがすごく目を輝かせて、お母さんとお父さんと一緒にすごいねといって驚いたり感動したり、そんなふうになっているんだとか、知的好奇心を揺さぶる内容になっているし、このマジシャンのマリーさんはお医者さんとして地域貢献している方でもあります。そのこと</p>

	<p>は江戸川区の子どもたちにとってはプラスになっているというふうに私は判断していいのかなと思います。</p> <p>天野委員のおっしゃることもそのとおりだし、ほかにも似たようなものはどうするかと。やはり一つの基準として子どもたちにどう関わって、学校にとってどうなのかなと。実際に見て、内容を判断することも大切ですね。たまたま去年拝見させていただいて、なかなかいい娯楽、文化、マジックの奥深さとか、科学的なもので解明できないということもあるのかなと。教育委員さんにも見ていただくのもいいのかなと思います。</p> <p>ほかになれば、ただいまの報告事項を了承いたします。</p> <p>次に、全国大会及び東京都中学校吹奏楽コンクール出場結果について、事務局から説明をお願いします。</p>
佐藤教育指導課長	<p>それでは、全国大会と東京都の中学校吹奏楽コンクールの結果についてでございます。資料、お手元に2枚ご用意してございます。</p> <p>まず1枚目が、中学校体育連盟が主催した全国大会の結果でございます。上の部分が中体連主催、下の部分が中体連以外の団体が主催したものでございまして、そうしますと、中体連さんのものは基本的に学校単位で出場するもの、それ以外ですと個人またはクラブチーム等で参加して入賞というのが多いのかなというふうに感じます。結果につきましては一番右端に書いてございます。ご確認くださいと思います。</p> <p>次のページに移りまして、令和5年度の東京都の中学校吹奏楽コンクールの結果でございます。A組、B組、東日本部門というところでそれぞれ金賞の学校がでございます。うちA組の鹿本中学校は、9月9日開催の東京都の吹奏楽コンクールに出場しまして、全日本吹奏楽コンクール予選だったんですけれども、金賞でしたけれども3位ということで、本戦には出られなかったというように話が来てございます。銀賞、銅賞もこのような形で表彰されているところでございます。</p>
教 育 長	<p>ただいまの報告事項、いかがでしょうか。</p>
天 野 委 員	<p>勉強も運動も活躍している姿が見られますね。特に吹奏楽コンクールでは、各学校が努力されて入賞しています。たしか、江戸川区は他の区に比べても管楽器がとても多く入っている区であるということを耳にしたことがありますので、ぜひぜひ江戸川区の良さの管楽器をもっともっと活用していただいて、子どもたちが目標に向かって努力する、そういった姿勢を育んでいただ</p>

教 育 長	<p>ければなと思っております。</p> <p>ありがとうございます。区民まつりもそうですけれども、小学校の地域まつりなど、小学校段階から江戸川区では吹奏楽など取り組んでいますので、それが中学校の吹奏楽の活動とか成績につながっている。鹿本中など全国狙えるような子どもたちもいますし、今年もおしかったですよね。全国大会出場かけて都大会で金賞取ったんだけれども、2校しか出られないということで、もう毎年出ている小平三中が強いです。ほとんど毎年出ている学校なので、あともう一つもそうですね。それでもこの成績は立派ですよ、金賞、銀賞など獲得してということで。ありがとうございます。</p> <p>ほかいかがでしょう。</p> <p>あとは、先週の校長会で私のほうから子どもたちの活躍について特筆すべきもの、全国大会出場しただけだとなかなか紹介しない部分もあるんですけども、全国大会で入賞したとか、なかなか難しい種目というか、競技人口が多い中で全国大会に出場したというような話もさせていただいていますし、学校でも中体連関係のものだけじゃなくて、小学校もそうですね、学校として出場しているものではなく、個人で習い事とかで活躍したのもしっかり学校でも表彰してくださいということで伝えています。ここに出てない部分もあって、今日私のところに来て、カヌーの全国大会で七葛西小の子どもが団体に優勝して個人で2位になったということで、それも追加してもらえればと思います。</p> <p>ほかになれば、ただいまの報告事項を了承いたします。</p> <p>次に、いじめ電話相談（令和5年度8月分）について事務局から説明をお願いします。</p>
百々教育研究所 長	<p>8月分のいじめ電話相談につきまして、ご報告させていただきます。</p> <p>8月は2件ございました。小学校4年生男子児童のことにに関するものが2件でございます。ご相談の内容については、暴力を受ける、無視される、直接の言葉によるもの、その他のところに1件入っているのは暴力に近い、つねられるというものですが、架電者は2件とも父親でございます。</p>
教 育 長	<p>ただいまの報告の件に関しまして、質問、ご意見等ございますか。</p>
天 野 委 員	<p>今、このいじめ電話相談の件数の載っている表を拝見しているのですが、そもそもの話で、学校の二学期が始まってそんなに経っていないんですけれ</p>

教育研究所長	<p>ども、全体的に子どもたちは元気に登校しているのか気になります。夏休みが今年１週間延びたということもありますので、その辺の状況について教えていただければと思います。</p> <p>毎年ですね、長期休業日明けに欠席した児童生徒につきましては、必ず学校が連絡をして、直接当該児童の声を聞くところまで、また一番いいのは目視するところまでしてもらっております。昨年度は、８０件以上、当日会えなかったそういう子たちが出てしまったんですけれども、今年度は１５件ほどに大分減りました。こちらは普段から多くが不登校の子で、なかなか顔を合わすことができない子たちだったんですけれども、学校が一学期から定期的に連絡をとるようになったというところで効果が出まして、長期休業日明け、すぐに連絡がついて、子どもの確認に繋がっているところのご報告をいただいております。なので、学校は日常的に子どもたちと繋がりを丁寧に対応しているというところで、二学期がはじまり、子どもたちが元気に登校する声をいただいているところでございます。今、現在、会えないところで心配なご家庭があと数件ありますので、最後まで確実に対応していきます。</p>
教 育 長	<p>ほかいかがでしょうか。</p>
井 戸 委 員	<p>今のお答え聞いていて、やはりやった分、それが見える形で表れてくると、やりがいもあるし、その分大変な思いもされていると思うんですけれども、うれしいことだなと思いました。</p>
教 育 長	<p>学校も意識として、どうしても目の前に来ている学校に来ている子どもたちをつい優先してしまう、そうではなくて見えない姿まで思いをよせてどうしているかなという、私はそういうのがやっぱり大事だと思うので、常に視野に入れておく、気にしておくということが大事だと、それは大分学校のほうに浸透してきています。ほかよろしいでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>ほかになれば、ただいまの報告事項を了承いたします。</p> <p>以上をもちまして、令和５年第１７回教育委員会定例会を終了します。</p> <p>閉会時刻 午後２時１３分</p>